

平成  
21年度

# 水道事業の決算状況

閩水道部総務課庶務係  
☎(24)2111 内線358番

本年度の経常的収入全体では、6億8,256万円（前年度比△3,078万円、△4.3%）となり、このうち営業収益における給水収益は人口減少や少子化の影響などにより前年度に引き続き減少しており、水量で49,487m<sup>3</sup>（1.7%）の減少となり、金額でも1,172万円（1.9%）の減収となりました。また営業外収益は、徴収経費等の費用の減少により雑収益や他会計負担金がそれぞれ減収となる決算となりました。

一方、経常的支出は、平成19年度から行ってきた公的資金補償金免除繰上償還の実施による支払利息の減などにより、費用総額で6億4,980万円、前年度比3,280万円の減少により、3,276万円の純利益が生じました。

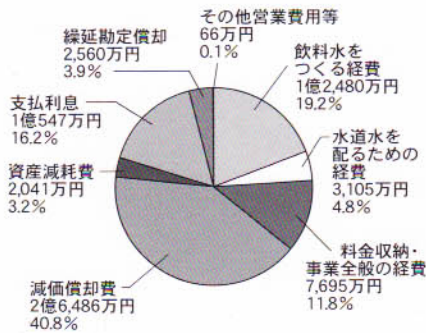
また、前年度に引き続き今年度も2億145万円を繰上償還し、1億2,480万円を低金利なものに借り換えました。

## 1年間の給水実績

- 年間総配水量 3,563,071 m<sup>3</sup>
- 1日最大配水量 11,753 m<sup>3</sup>
- 1日平均配水量 9,762 m<sup>3</sup>
- 給水人口 23,356 人
- 延べ給水件数 138,383 件
- 普及率 92.50 %
- 1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価 215.30 円
- 1 m<sup>3</sup>当たりの給水費用 228.24 円

## 経常的な事業活動に伴う収支（消費税抜き）

### 経常的支出 6億4,980万円



### 経常収入の内容

・給水収益は水道事業の根幹をなす収入であり、用途別の合計額で、6億1,268万円、経常収入の89.8%を占めています。

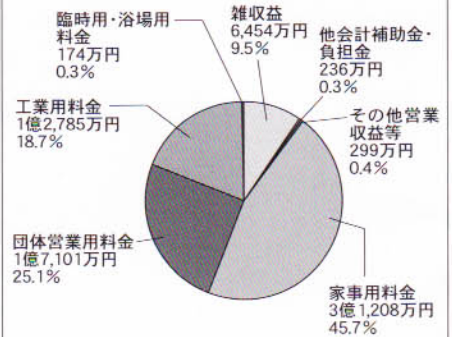
### 経常支出の内容

・水道水がつけられてから、蛇口まで配られ、使用された量に基づき料金を納めて頂くまでに必要となる経費は、2億3,280万円となり、経常支出のおよそ35.8%を占めています。  
・以外の経費は、固定資産の減価償却費のほか企業債の償還利息等があります。

### 経常的収支

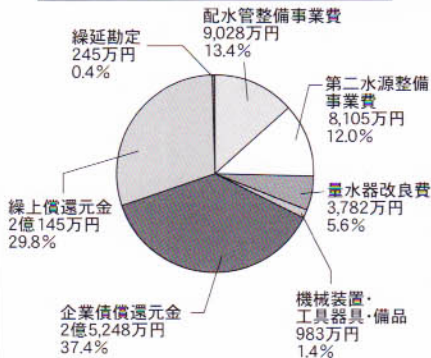
・単年度の収支では3,276万円の黒字で決算となり、累積赤字は1億6,960万円に減少しました。

### 経常的収入 6億8,256万円



## 投資的な事業活動に伴う収支（消費税込み）

### 投資的支出 6億7,536万円



### 配水管整備事業

・安定した給水を行うために、国からの借入金を財源に、7路線で延長1,000.3mの配水管路整備を実施しました。

### 量水器改良・整備経費

・計量法に基づき、1,499個のメーター取替と112個のメーター新設を実施しました。

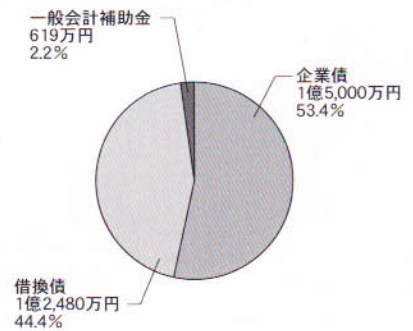
### 企業債償還元金

・過去に発行した企業債の償還元金です。

### 投資的収支

・収支の不足額3億9,437万円は、経常的支出の内、減価償却費など現金支出を伴わない支出で補填しました。

### 投資的収入 2億8,099万円

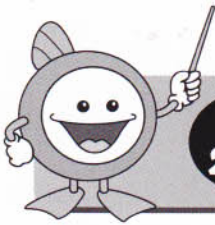


## 資金の収支状況（消費税込み）

収入		支出	
営業収益	6億3,754万円	営業費用	2億3,282万円
営業外収益	6,880万円	営業外費用	1億547万円
前年度未収金	843万円	建設改良費	1億9,837万円
企業債	2億7,480万円	企業債償還元金	4億5,394万円
前受金	2,332万円	貯蔵品購入費	2,217万円
預り金	4億3,726万円	前受金	2,331万円
前年度繰越金	2億3,650万円	預り金	4億3,724万円
一般会計補助金	619万円	未払金、消費税	2,032万円
短期貸付金受入	7,000万円	繰延勘定	245万円
		短期貸付金	7,000万円
		次年度繰越金	1億9,675万円
計	17億6,284万円	計	17億6,284万円

## 財政の状況（平成22年3月31日現在）

固定資産	53億3,986万円	固定負債	3,261万円
		流動負債	467万円
		資本金	53億4,769万円
		(自己資本 6億8,424万円)	
		(借入資本 46億6,345万円)	
流動資産	2億1,772万円	剰余金	2億3,423万円
		(資本剰余金 4億383万円)	
		(利益剰余金△1億6,960万円)	
繰延勘定	6,162万円		
資産合計	56億1,920万円	負債資本合計	56億1,920万円



平成  
21年度

# 下水道事業の決算状況

岡水道部総務課庶務係  
☎(24)2111 内線358番

本年度の経常的収入決算額は8億9,480万円（前年比△1,800万円、△2.0%）となり、このうち営業収益は8億9,412万円、営業外収益は56万円といずれも減収となる決算となりました。

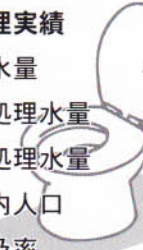
主な要因は、補償金免除繰上償還の実施による企業債償還利息の減少と水洗化資金貸付残高減少による預託金額の減額に伴って、他会計負担金と貸付元金収入が減収となったことによるものです。

一方、経常的支出は人件費の減少や補償金免除繰上償還による支払利息の軽減により、前年度に比べて3,385万円削減となる9億2,017万円の決算となり、経常的収支全体では721万円の純損失が生じました。

建設改良事業は、企業債や国庫補助金を主な財源として、下水道管の整備や終末処理場の整備を実施しました。また3億4,510万円の繰上償還を実施し低利のものに借り換えました。

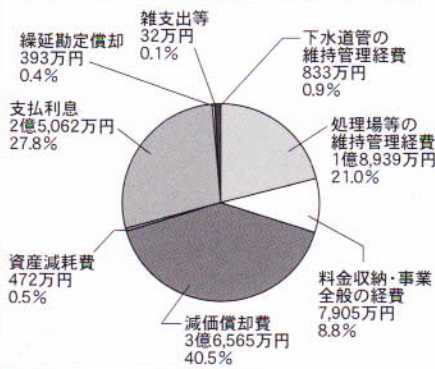
## 1年間の処理実績

- 年間処理水量 4,843,841 m<sup>3</sup>
- 1日最大処理水量 35,344 m<sup>3</sup>
- 1日平均処理水量 13,271 m<sup>3</sup>
- 処理区域内人口 22,915 人
- 下水道普及率 90.7%



## 経常的な事業活動に伴う収支(消費税込み)

### 経常的支出 9億2,017万円



### 経常収入の内容

・経常的収入の42.5%は利用者の皆様からの下水道使用料です。約52.9%は他会計からの雨水処理負担金などです。

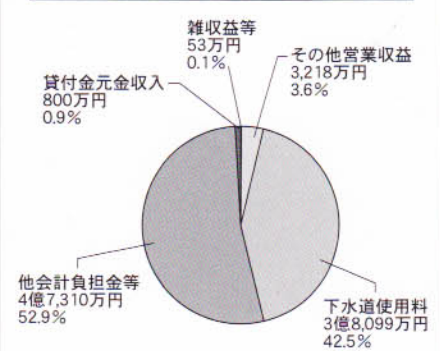
### 経常支出の内容

・下水道の終末処理場などを維持し汚れた水を処理する費用や借入金の利息、減価償却費などとして使われました。

### 経常的収支

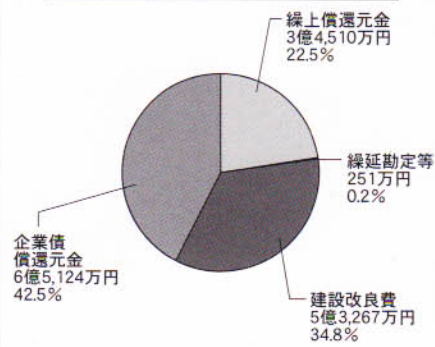
・収入・支出差し引き額で、721万円の損益赤字が生じた結果、累積欠損金が3,028万円になりました。

### 経常的収入 8億9,480万円



## 投資的な事業活動に伴う収支(消費税込み)

### 投資的支出 15億3,152万円



### 建設改良事業

・下水道管や終末処理場は、一度整備するとしばらく使い続けられる施設ですが、工事の費用が大きいため借入金や国からの補助金などで整備をしています。収入の77.3%は借入金(借換債含む)で、21.5%は国庫補助金です。

・支出は、下水道管や終末処理場などの整備と借入金の元金返済に使われました。

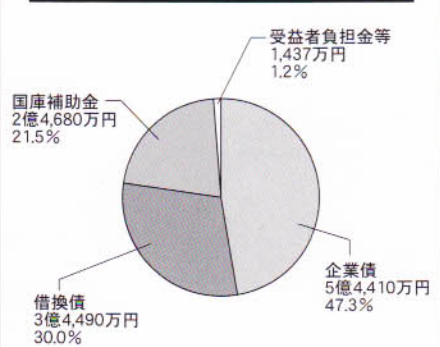
### 企業債償還元金

・過去に発行した企業債の償還元金です。

### 投資的収支

・収支の不足額3億8,135万円は、経常的支出の内、減価償却費など現金支出を伴わない支出で補填しました。

### 投資的収入 11億5,017万円



## 資金の収支状況(消費税込み)

収 入		支 出	
営業収益	8億7,993万円	営業費用	2億6,278万円
営業外収益	42万円	営業外費用	2億5,062万円
特別利益	11万円	建設改良費	5億3,247万円
前年度未収金	1,093万円	企業債償還元金	6億5,124万円
企業債	9億940万円	繰上償還元金	3億4,510万円
前年度繰越金	1,892万円	未払金	17万円
国庫補助金	2億4,680万円	一時借入金	4億2,000万円
負担金	1,388万円	繰延勘定	19万円
その他資本的収入	7万円	補助金返還金	232万円
一時借入金	4億2,000万円	次年度繰越金	3,557万円
計	25億46万円	計	25億46万円

## 財政の状況(平成22年3月31日現在)

固定資産 230億6,356万円	固定負債 10億9,434万円
	流動負債 1,418万円
流動資産 6,531万円	資本金 92億4,674万円 (自己資本2,532万円) (借入資本92億2,142万円)
	繰延勘定 1,520万円
資産合計 231億4,407万円	剰余金 127億8,881万円 (資本剰余金128億1,909万円) (利益剰余金△3,028万円)
	負債資本合計 231億4,407万円